

Challenge Spirit

平成19年 2月25日号 vol. 12

今回のトピックス

~特集~埼玉安心計画②
安全安心な
地域づくりのために！

田村たくみ総決起大会開催！

後援会からのお願い！



田村たくみは、様々な問題・課題、そして施策に3つの理念と4つの政策計画を携え、熱い気持ちで誠実・実直に取り組んでまいります。

3つの理念

- ① 誠実・熱血行動派宣言！
誠実な行動で、皆様が主役の政治を行います。
- ② 安全安心宣言！
安全で安心して生活できる、住みよい街づくり。
- ③ 未来への約束！
未来を担う子どもたちが、イキイキと育つ環境づくり。

4つの政策計画

- ① 埼玉安心計画
安全安心な地域づくりのため
- ② 埼玉つ子育成計画
子どもたちの輝く未来のために！
- ③ 埼玉行財政改革計画
民主的で開かれた政治のを！
- ④ 地域イキイキ計画
住みよい地域づくりのために

Challenge Spirit とは・・・

直訳で「挑戦する精神」
一度志を抱いたならば、一度の挫折を苦とせず糧とし、常に挑戦する気持ちで前向きに頑張っていく「田村たくみ」の精神を表したもの。



後援会からのお願い

※ミニ集会開催のお願い！

「田村たくみってどんな政策を掲げているの？」「今の政治情勢について知りたい！」「地域にこんな問題があるのだけども聞いてくれないかな？」など、田村たくみに聞きたいこと、言いたいこと、政策として考えてほしいことを一緒に話し合いませんか。人数や内容は問いません。是非、ミニ集会を企画して下さい。ご希望の日時、場所、テーマをお知らせ頂ければ、田村たくみが伺わせて頂きます。

ご希望は、
後援会まで・・・



ご参加は、
後援会まで・・・



田村たくみプロフィール
昭和四十六年十月十五日生まれ。
サラリーマン家庭の長男として誕生。
さいたま市立海老沼小学校卒業
さいたま市立片柳中学校卒業
埼玉県立川口青陵高校卒業
放送大学教養学部卒業
学生時代、政治学を学び現在の政治状況を憂い、政治家を志す。衆議院議員中山太郎秘書を経て、平成15年4月埼玉県議会議員選挙に挑戦。14,703票のご支持を頂くも209票差で次点に泣く。選挙の翌朝から街頭演説を行うなど、埼玉県及び地域の諸課題・諸問題を訴え活性化に取り組んでいる。現在、学習塾塾長。未来を担う子どもたちの教育環境改善に努める。

主な経歴及び役職

- 元衆議院議員 秘書
- 見沼区民会議 委員
- 青少年育成埼玉県民会議
- 青少年育成片柳地区会 理事及び巡回推進員
- さいたま市野球連盟大宮支部 理事
- 社会福祉法人「希求会」 評議員
- 大宮東リトルシア 会長
- 南中野商店会 会長
- 社団法人埼玉中央青年会議所 会員
- 社団法人大宮法人会 地区委員
- さいたま商工会議所 幹事
- 中御蔵自治会 等

田村たくみ後援会

住所：〒337-0042さいたま市見沼区南中野457-15
電話：048-681-0005 FAX：048-681-0006
e-mail: webmaster@takumi-tamura.org
ホームページ：http://www.takumi-tamura.org

～特集～安全安心計画② 安全安心な地域づくりのために！

現在、我々を取り巻く社会情勢の中で、阪神淡路大震災。また、新潟中越地震などにみられますように、何時、何処で大規模な震災が発生するか分からないという状況がございます。

そこで、埼玉県内におけます大規模震災に備えた災害対策施策を見渡して見ますと、様々な災害対策施策が実施・実行されておるところであります。しかしながら、県内における災害対策施策において、実施しなければならない点が未だに多数存在する状況が伺えてくるところであります。

私は、災害対策施策を実施・実行していくに当たり、次の2つ視点が重要だと考えております。それは、①災害発生前の対策と②災害発生後の対策であります。

①災害発生前の対策

現在の災害対策施策は、大規模震災が発生した段階での対応として「災害指定避難所へ駆けつけ方」「食料品の備蓄・運搬方法」「仮設トイレの設置」等、災害発生後に我々が如何に不自由をしないで、震災生活をおくることができるかに重点が置かれています。しかしながら、本当に必要なのは、震災に遭遇したときに「生きていられるか」という視点であります。

阪神淡路大震災では、約6500人の方が亡くなりました。このうち、神戸市内で亡くなった、4000人について調べた「兵庫県監察医 調査報告書」というデータがあります。この報告書のポイントは2つ、死亡時刻と死亡原因です。

まず、死亡時刻について報告書によると、地震発生後の15分間で、死者の96%が亡くなっています。つまり、ほとんどすべてが即死だったのです。どんなに早く救援を行っても、助かるのちはほんの僅かです。事後対策でなく、事前の備えこそがいのちを守る。このデータが示す第1の教訓です。ではその死亡原因、死因は何か。圧死、窒息死、打撲などをあわせると、83%が、崩れた建物や家具の下敷きになったことが原因です。この他、火災による死亡も、建物や家具に挟まれ、その結果、逃げられなくなってのものですから、これもあわせると、96%が、建物倒壊による関連死だといえます。水やカンパンが足りなくて死亡した人はひとりもいません。大地震からいのちを守るためには、建物や家具の下敷きにならないこと。このデータが示す、第2の教訓です。

では、この教訓を生かした施策を考えてみますと、事前対策として建物や家具の下敷きにならない施策を実行していく必要があります。例えば、災害発生時に建物が倒れないように事前に行政による危険度調査の実施が考えられます。また、家具等の下敷きにならないように、各家庭への啓蒙活動も必要となってくるでしょう。このように、施策の内容・実施方法などは沢山アイデアが出てきます。災害発生後に「生きていられるか」という視点が重要なのです。

②災害発生後の対策

では、生存することができたときに考えられる災害対策施策を考えて見ましょう。現在、災害が発生した場合に我々は近所の災害指定場所に足を運ぶこととなります。しかしながら、平均的な小中学校の体育館では人ひとりが寝るスペース（毛布1枚）を確保すると、200名程度しか寝るスペースを確保することができません。新潟中越地震の時は、このスペースを確保するのに早いもの勝ちという現象がおきました。では、その他の人たちはどうなるのかと言うと、教室での生活、校庭での車での生活などとなり、生活スペースを確保できればまだよし、と言う状況が発生してきてしまいます。ここでは、更なる指定箇所の模索、そして、災害弱者の優先的配慮というものが重要となるでしょう。

また、関係諸機関の連携があまり構築されていないこと。個別施策的に見てみましても、エレベーターに閉じ込められた場合での対応など、まだまだ多くの施策を実行していかなければならないところがあります。

そこで私は、皆様方が大規模震災に見舞われたときに、安全で安心して行動していけるように、現在不足している多くの施策を実行し、また、関係諸機関の連携が図れるよう制度を整えてまいります。



新潟中越地震にボランティアとして駆けつける。

参考文献：早坂よしひろホームページ（東京都議会議員）

田村たくみ 総決起大会開催！

来る、2月18日（日）。田村たくみ「総決起大会」が、七里コミュニティセンターホールにて開催されました。当日は、午前中に雨がパラついており、出足が心配されましたが、午後からは天候も回復し、多くの皆さまにご参加を頂戴し盛大に開催することができました。開会セレモニーにおいて来賓の皆さまより、田村たくみへの激励を頂戴し、続いて、田村たくみ決意表明では、自身が作成したパワーポイントスライドを使用し、わかりやすい県政の課題・問題・施策が発表されました。そして、後援会一丸となって選挙戦を戦っていくことを誓い、会場の皆さまと「檄」を力強く飛ばしました。



多くの参加者と来賓に出席頂き、盛大に開催。



後援会一丸となって戦うことを誓い、檄を飛ばす。



田村たくみ決意表明。スライドを用いわかりやすい県政を説明。

ホームページ、リニューアルオープン

かねてより、工事中でありましたホームページがいよいよリニューアルオープン致しました。今後は、田村たくみBlogも掲載予定。日々の田村たくみ君の行動を追ってみては・・・？

皆さまのアクセスをお待ちいたしております。

www.takumi-tamura.org

